

令和6年度 第2回成田市男女共同参画計画推進懇話会 会議概要

1. 開催日時

令和6年12月19日（木）午後1時30分～午後2時50分

2. 開催場所

成田市役所 議会棟3階 執行部控室

3. 出席者

（委員） 渡辺会長、城委員、佐久間委員、滝田委員、
平山委員、内田委員、佐藤委員、谷委員、鈴木委員、
狹山委員、白鳥委員、三村委員（代理・長見副参事）
篠田委員

（事務局） 谷平部長、平岡課長、菅澤主幹、天河主事

※欠席者 村島副会長、古山委員、加瀬委員

4. 議事（要旨）

（1）第4次成田市男女共同参画計画の進捗について

事務局から第4次男女共同参画計画にて設定している82の事業のうち、基本計画ごとにそれぞれ主な事業の令和5年度の実績と、成田市の男女共同参画の現状について説明した。

主なものとして、「審議会等における女性の登用促進」について、令和5年度の審議会等における、女性の割合は27.3%であり、目標の40%に到達しておらず、引き続き全庁的な取組として進め、市の政策・方針決定過程への男女共同参画の促進を進めていく。また「男女共同参画講座開催事業」について、令和5年度は年間テーマを「SDGs×ジェンダー平等」と設定し、元サッカー選手や東京大学の先生を講師として招聘し、年間で317人の参加があったことなどを説明した。

（2）令和5年度実施状況報告書の作成について

第4次成田市男女共同参画計画の進捗状況を集約して作成する「第4次成田市男女共同参画計画 令和5年度実施状況報告書」について説明した。

議題（1）の第4次計画の進捗状況について頂いた意見を反映し、実施状況報

告書を作成し、改めて実施状況報告書への懇話会委員からの意見を頂いたのち、市ホームページ等で公開する予定であることを説明した。

（３）第５次男女共同参画計画の策定について

第５次男女共同参画計画は令和７年度中に策定を進める予定であり、その策定スケジュールについて、市民アンケート調査や、パブリックコメントの実施、またそれらに伴う懇話会の開催スケジュールについて説明した。

スケジュールとして、各アンケート調査の調査結果を来年度第１回の懇話会にて報告し、第２回懇話会では、アンケート結果を踏まえて作成した、素案について報告した後、パブリックコメントを実施する。第３回懇話会では、意見等を反映した最終案を報告し、令和８年３月に第５次男女共同参画計画を策定予定であることを説明した。

５．質疑等 主な質疑・意見は次の通り

議題（１）第４次成田市男女共同参画計画の進捗について

●基本目標１について

（内田委員）

事業番号１番審議会等における女性の登用数について、市ホームページ上だと、開催実績が公開されていないものがある。例えば、福祉有償運送運営協議会については、開催状況が市ホームページ上で公開されていない、設置されているのか。

（事務局）

福祉有償運送運営協議会は設置している。定数１５名のところ、委嘱人数１０名（女性１名、男性９名）任期は、令和５年３月１日から令和７年２月２８日までとなっている。

（社会福祉課長）

確認の上、市ホームページについては修正する。

（内田委員）

女性の登用数が０名の審議会がある。コンプライアンス審査会については、定員が３名のところ、女性が０名となっているが、当該審査会は千葉市には設置されているが、成田市には設置されていないのではないかと。

（事務局）

本市においても、成田市コンプライアンス条例に基づいて、コンプライアンス審査委員会が設置されている。定数 3 名、委嘱人数 3 名となっており女性は 0 名となっている。

(城委員)

事業番号 7 番の職場環境の整備について、男性の育児休業の取得率は 76.1% となっているが、取得した期間などの情報はあるか。女性から育休は取っているが、期間が短いので本当の意味で家庭への貢献になってないという声をよく伺う。長い期間取得してもらい社会全体が育休を取得する雰囲気になればと思っている。

(事務局)

人事課では取得期間別の集計はしていないと聞いている。データがあるので集計することは可能だとは思いますが、どこまで公開できるのかという面もあるので確認する。

(内田委員)

次期計画時実施する事業所アンケート調査において実際に取得した職員に対する事業所の対応など、アンケートの内容を工夫してほしい。

●基本目標 2 について

(内田委員)

事業番号 13 番の休日保育事業について、その実施がない理由として、保育士の不足等が挙げられているが、実際に休日保育の利用希望があったのか。

(事務局)

保育課に確認したところ、令和 6 年度については受け入れできる保育園がなかったことから、実施しなかった。

(内田委員)

休日保育事業は今後、ファミリーサポートセンターに置き換わるという認識でよいか。

(こども政策課長)

休日保育事業については、子育てのニーズ調査を行っており、利用希望アンケートを実施したところ、回答者のうち、76.6%が利用希望なし、月に 1・2 回の利用希望が 17.6%、毎週の利用希望が 4.3%の結果となっている。

また、ファミリーサポートセンターとは事業が異なるため、それぞれの事業

で実施していくこととなる。

(佐久間委員)

事業番号 16 番の一時保育運営事業について、一時保育施設はニュータウンなどに集まっており、三里塚地区には子どもが多くニーズがかなり多いが一時保育施設が一か所もない。利用者はバスを利用して通っている。

また、17 番の病児・病後児保育の充実について、働く女性にとって切実な問題である。今インフルエンザ等により、利用したいが利用できないケースもある。実績の集計方法について疑問に感じた。

(こども政策課長)

入所の要件が新制度となり緩和されたことや、女性の就労率の向上といった要因から、一時保育の利用者数は減少傾向にある。

三里塚地区に一時保育施設がないことについて、必要性は認識しているが、保育士不足などもあり、今後も検討課題とする。

病児・病後児保育の充実について、受け入れた医院にてスタッフが感染し、病児保育体制の維持が困難になったという経緯があったことから、利用を一時的に制限している施設がある状況である。

病児保育のニーズ調査において、未就学児童を持つ親について、前回調査で 37.1%の利用希望があったが、今回は 33.4%に減少している。また就学児童を持つ親についても同様に 15%から 13.7%に減少している。

この理由としては、子の看護のために仕事が休みやすくなった、リモートワーク等で子の面倒が見やすくなったといったことが挙げられる。

●基本目標 3 について

(内田委員)

事業番号 29 番の講座開催事業について、暴力の根絶をテーマにしたセミナーを開催したか。

(事務局)

令和 5 年度について、DV をテーマにしたセミナーの実績はない。今後、セミナー等で取り扱えないか検討する。

●基本目標 4 について

(内田委員)

事業番号 42 番～45 番について、妊娠や出産をする女性に対する男性の関わり合いについて、男性が出産・育児に関わる機会が少ないように感じている。父親が介入する余地を残すべく、父親に対する講座等の充実や、母子手帳を親子手帳等への名称の見直し等が必要であるとする。

(事務局)

男女共同参画を進めていく上で、仕事と子育ての両立支援は重要な柱と考えているが、女性のための施策というニュアンスが強くなっているところもあると思う。本市の男性職員の育休の取得率は高くなっているが、実際の場面の中でどのような役割を果たしているのか、あらゆる場面で男性と協力し、育児などにも積極的に関わってもらうことが重要である。本年度は、男性の視点からの男女共同参画をテーマにセミナーを開催した。次期計画では、男性側の視点、意見を取り入れた計画の策定を検討する。

また、母子手帳についてのご意見があったが、妊婦の健康状態や検診、子どもの予防接種などを記録するものとなっている。男性の家事・育児等への参加については、行政や民間、家庭が一丸となって、促進していくものと考えている。

●基本目標 5 について

質疑なし

●全体的な内容について

(谷委員)

評価基準が分かりづらい。評価の達成に向けて、何を実施したのか、改善したのかということが重要だと考える。

例えば、佐倉市は、評価基準を明確に持っており、改善点等を明記している。各課が評価基準を具体的に提示することが必要ではないか。

(事務局)

各担当課で、目標値を設定し、評価基準に基づき評価をしている。評価の根拠について評価コメントも含め、今後検討していく。

議題（２）令和 5 年度実施状況報告書の作成について

質疑なし

議題（３）第５次男女共同参画計画の策定について

（谷委員）

アンケート調査について、誰がアンケート項目を作成するのか。また、懇話会の委員の意見を反映できないか。

（事務局）

項目については、成田市における男女共同参画の浸透状況等を比較するため、基本的に前回の内容を踏襲する予定だが、国の基本計画や成田市の現状等を踏まえ、内容を精査する予定である。また、委員の意見を反映するために、各委員宛に書面で意見照会する予定である。

（内田委員）

事業番号 38 番の消防業務等の支援が基本目標 3 にあることに違和感を覚えることから、項目を移動した方が良いのではと考える。

（事務局）

災害時に被害を受けた女性に寄り添う女性吏員の増員を目標として設定しているが、女性活躍推進計画とも関連していることから、該当する基本目標について検討する。

（城委員）

男女共同参画セミナーの周知について、学校に配布しているか。令和 6 年度の講演会の評判が良かったので、学校から保護者への電子掲示板などを活用しても良いのではと考える。

（事務局）

市内の各小中学校にチラシやポスターを配布している。電子掲示板の利用も検討する。

6. 傍聴者 なし